

2014年度1年次対象 学修活動に関するアンケートの結果（報告）

IR センター教育情報分析室・FD 委員会

I. アンケートの概要

2015年1月から2月に1年生を対象にユニパのアンケート機能を用いて実施した。アンケートは、回答者の属性、施設・設備等の利用状況、学士力達成度・専門性の向上・教育目標の達成・意欲の伸び（以下、学士力等の伸展）、諸活動に書ける時間に関する項目より構成されている。405名の回答が得られた（回答率30.3%）。

II. 全体の傾向

1. 回答者の属性

回答者の学科構成を表1-1、属性を表1-2に示す。

表1-1 学科

学科名	度数	%
社会福祉学科	106	26.2
社会教育学科	46	11.4
福祉心理学科	79	19.5
産業福祉マネジメント学科	25	6.2
情報福祉マネジメント学科	82	20.2
子ども教育学科	25	6.2
保健看護学科	14	3.5
リハビリテーション学科	18	4.4
医療経営管理学科	10	2.5
総計	405	100.0

表1-2 属性

項目	カテゴリ	度数	%
性別	男性	144	35.6
	女性	261	64.4
入試形態	AO入試	34	8.4
	推薦入試	105	25.9
	一般入試	266	65.7
居住形態	自宅	226	55.8
	自宅以外	179	44.2
部・サークルの所属	無	59	14.6
	有	346	85.4
ボランティア活動	無	256	63.2
	有	149	36.8
国際交流経験	無	393	97.0
	有	12	3.0
アルバイト経験	無	98	24.2
	有	307	75.8
キャリアデザイン I の履修	無	307	75.8
	有	98	24.2
実学臨床教育（総合福祉学部のみ）	無	211	91.3
	有	20	8.7
副専攻の履修（総合福祉学部、総合マネジメント学部のみ）	無	303	89.6
	有	35	10.4

2. 施設・設備等の利用状況

施設・設備等の利用状況を表 2-1 に示す。

表2-1 施設等の利用状況

		なし	たまに	ときどき	頻繁に	無回答
図書館	度数	26	137	162	78	2
	%	6.4	33.8	40.0	19.3	0.5
美術工芸館	度数	299	96	7	0	3
	%	73.8	23.7	1.7	0.0	0.7
キャリアセンター	度数	263	117	21	2	2
	%	64.9	28.9	5.2	0.5	0.5
保健室・ウェルネス支援室・学生相談室	度数	203	167	30	1	4
	%	50.1	41.2	7.4	0.2	1.0
学習室、食堂(学習目的限定)	度数	15	71	126	191	2
	%	3.7	17.5	31.1	47.2	0.5
語学・異文化学習支援室	度数	372	17	8	3	5
	%	91.9	4.2	2.0	0.7	1.2
コミュニケーションタイム	度数	369	20	5	3	8
	%	91.1	4.9	1.2	0.7	2.0
UNIPA クラスプロファイル機能	度数	74	151	108	71	1
	%	18.3	37.3	26.7	17.5	0.2
UNIPA リエゾンポートフォリオ	度数	92	210	78	22	3
	%	22.7	51.9	19.3	5.4	0.7
ピアメンター	度数	342	38	13	6	6
	%	84.4	9.4	3.2	1.5	1.5
Webテキスト「リエゾンゼミ・ナビ」	度数	164	188	47	2	4
	%	40.5	46.4	11.6	0.5	1.0
tfuマイカルテシシステム・tfu元気点検道場・tfu元気点検票かるた	度数	218	164	17	3	3
	%	53.8	40.5	4.2	0.7	0.7

次いで、授業履修時のシラバス・履修モデル・履修系統図の活用について、表 2-2 と表 2-3 に示す。

表2-2 履修モデル・履修系統図の認知について

		知らない	知っている
自分の学科・コースの履修モデル	度数	116	289
	%	28.6	71.4
自分の学科・コースの履修系統図	度数	164	241
	%	40.5	59.5

表2-3 履修時に参考にする情報について

		参考にしなかつた	あまり参考にしなかつた	まあまあ参考にした	かなり参考にした	無回答
シラバス	度数	7	47	182	166	3
	%	1.7	11.6	44.9	41.0	0.7
履修モデル	度数	51	78	179	91	6
	%	12.6	19.3	44.2	22.5	1.5
履修系統図	度数	82	98	163	54	8
	%	20.2	24.2	40.2	13.3	2.0

続いて、所属する学科の教育目標とディプロマ・ポリシーの認知状況について表 2-4 に示す。

表2-4 学科の教育目標、ディプロマ・ポリシーの認知

		知らない	あまり知らない	まあまあ知っている	かなり知っている	無回答
学科の教育研究上の目的・教育目標	度数	32	172	180	17	4
	%	7.9	42.5	44.4	4.2	1.0
学科のディプロマ・ポリシー	度数	58	189	139	16	3
	%	14.3	46.7	34.3	4.0	0.7

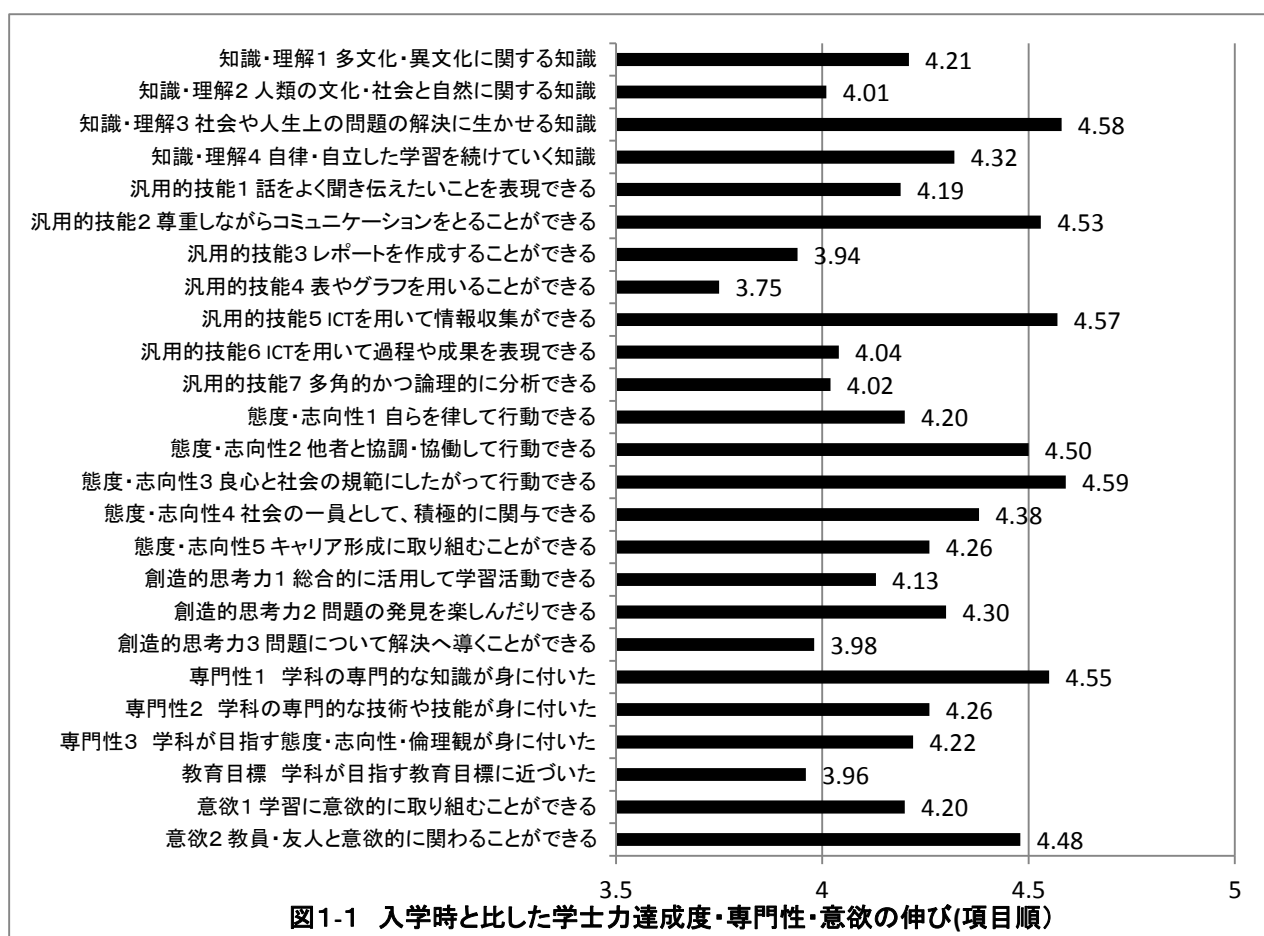
最後に、リエゾンゼミ I に対する評価を表 2-5 に示す。

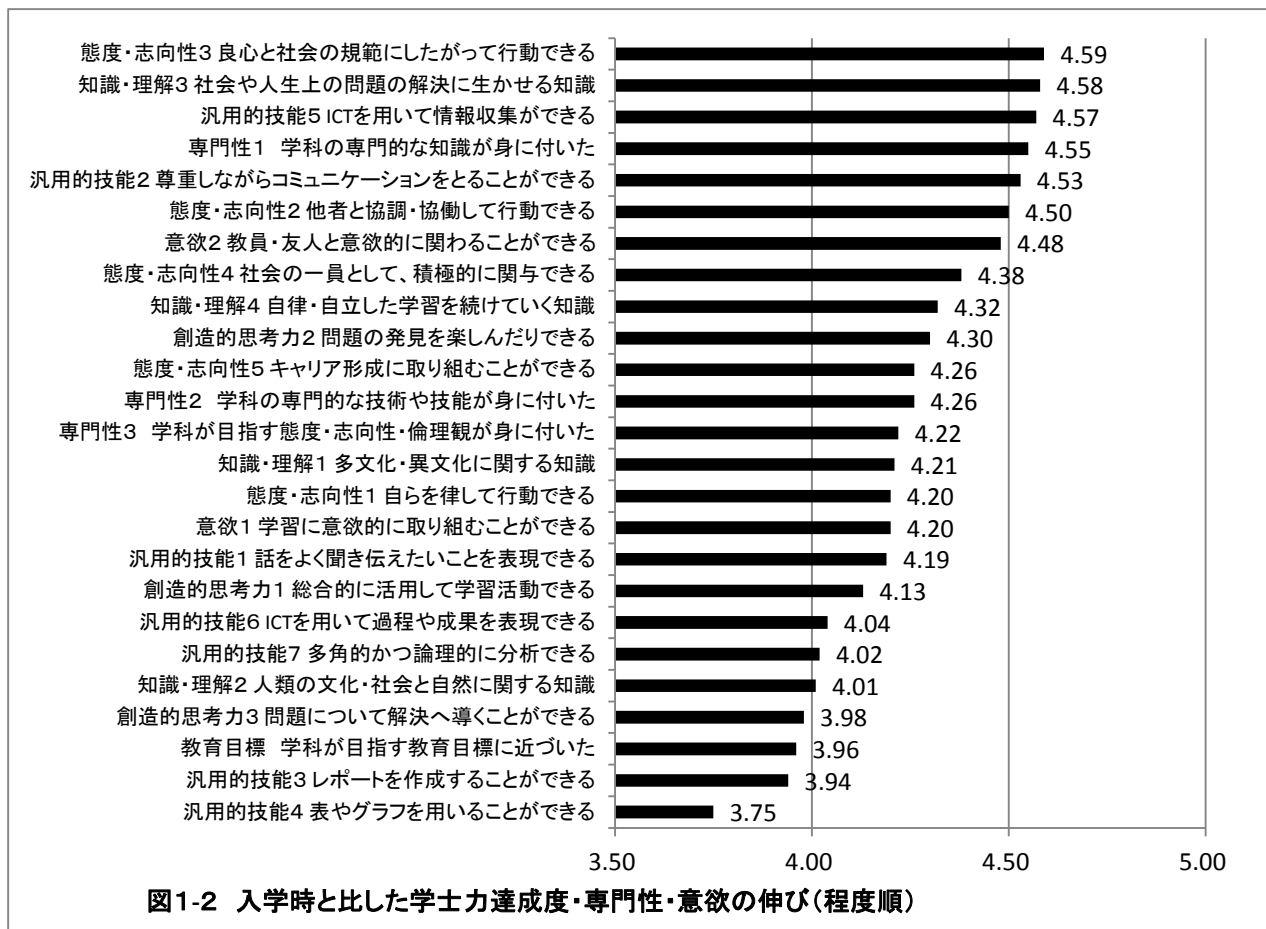
表2-5 リエゾンゼミ I に対する評価

		充実していなかった	あまり充実しなかった	まあまあ充実していた	かなり充実していた	無回答
リエゾンゼミ I	度数	13	45	232	110	5
	%	3.2	11.1	57.3	27.2	1.2

3. 学士力等の伸展

入学時と比した学士力等の伸展について、項目順にまとめたものを図 1-1、程度順にまとめたものを図 1-2 に示す。全ての項目が平均値 3.5 以上（伸展したことを意味する、「非常にそう思う」を 6、「まったくそう思わない」を 1 とする 6 件法）であった。特に伸びの大きい項目として示されたのは、「社会との関わり、他者とのコミュニケーション・配慮」に関する項目であり、過年度と同様の傾向にあった。他方、「課題の分析・解決、図表を用いたレポート・資料作成」に関する項目は、伸びが見られるもののその程度は小さいことが示された。これも過年度と同様の傾向であった。





4. 諸活動時間

1週間当たりの諸活動にあてる時間について表3にまとめた。各項目において割合上位の2つの時間帯を太字にしている。特にアルバイトに充てる時間には0時間から20時間以上まで個人差が大きいことが見受けられる。

表3 1週間あたりの諸活動時間

		0時間	1時間未満	1～2時間	3～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	20時間以上	無回答
履修している授業の予習や復習をする	度数	24	108	131	82	35	10	5	6	4
	%	5.9	26.7	32.3	20.2	8.6	2.5	1.2	1.5	1.0
授業に出席する	度数	3	0	1	18	28	75	117	154	9
	%	0.7	0.0	0.2	4.4	6.9	18.5	28.9	38.0	2.2
オフィスパワーを利用するなどして、授業時間以外に教員と面談する	度数	290	84	15	2	2	2	0	1	9
	%	71.6	20.7	3.7	0.5	0.5	0.5	0.0	0.2	2.2
読書をする(予復習のための教科書・専門書を除く)	度数	93	144	86	44	18	7	3	6	4
	%	23.0	35.6	21.2	10.9	4.4	1.7	0.7	1.5	1.0
新聞を読む	度数	202	149	30	11	3	3	0	2	5
	%	49.9	36.8	7.4	2.7	0.7	0.7	0.0	0.5	1.2
インターネットでニュースを調べる	度数	45	155	113	53	18	7	0	9	5
	%	11.1	38.3	27.9	13.1	4.4	1.7	0.0	2.2	1.2
ボランティア活動をする	度数	162	75	71	45	20	4	1	18	9
	%	40.0	18.5	17.5	11.1	4.9	1.0	0.2	4.4	2.2
アルバイトをする	度数	107	13	8	52	68	64	38	50	5
	%	26.4	3.2	2.0	12.8	16.8	15.8	9.4	12.3	1.2

5. 属性と学士力等の伸展の関連

学士力等の伸展と統計的に有意に関連がみられた属性は表4の通りであった。本学が力を入れている部・サークル活動、実学臨床教育は学士力の伸展とかなりの関連が認められ、ボランティア活動、国際交流、キャリアデザインIの履修も関連が認められた。自宅以外学生が自宅学生よりも伸長が示された。過年度、複数項目にて示されていた「入試形態」での差異は今年度は示されなかった。また、「アルバイト」に関しては過年度とは逆の傾向が見られ、アルバイトをしていない者が高く伸展を示す項目が認められた。

表4 属性と学士力達成度・意欲の関係

		性別	入試形態	居住形態	部活動・サークル	ボランティア	国際交流	アルバイト	キャリアデザインI	実学臨床教育	副専攻
知識・理解	多文化・異文化に関する知識						無<有				
	人類の文化・社会と自然に関する知識			自宅<自宅以外				無>有			
	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識			自宅<自宅以外			無<有				
	自律・自立した学習を続けていく知識	男<女						無>有			
汎用的技能	話をよく聞き伝えたいことを表現できる			自宅<自宅以外	無<有						
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる										
	レポートを作成することができる					無>有					
	表やグラフを用いることができる								無<有		
	ICTを用いて情報収集ができる										
	ICTを用いて過程や成果を表現できる						無<有		無<有		
態度・志向性	多角的かつ論理的に分析できる										
	自らを律して行動できる			自宅<自宅以外							
	他者と協調・協働して行動できる	男<女			無<有					無<有	
	良心と社会の規範にしたがって行動できる										
	社会の一員として、積極的に関与できる					無<有					
創造的思考力	キャリア形成に取り組むことができる			自宅<自宅以外	無<有	無<有				無<有	
	総合的に活用して学習活動できる									無<有	
	問題の発見を楽しんだりできる										
専門性	問題について解決へ導くことができる										
	所属する学科の専門的な知識										
	所属する学科の専門的な技術や技能									無<有	
教育目標	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観			自宅<自宅以外				無>有		無<有	
	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標				無<有					無<有	
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる										
	教員・友人と意欲的に関わることができる			自宅<自宅以外	無<有						

6. 施設・設備の利用と学士力等の伸展の関連

学士力等の伸展と統計的に有意に関連がみられた施設・設備の利用は、表5-1の通りであった(表中数値は順位相関係数)。特に係数が.20を超えている項目を太字とした。これらの部分はすべて弱いながらも正の関連を示しており(利用する者のほうが利用しない者よりも伸びを高く示すことを意味する)、特に「UNIVERSAL PASSPORTのクラスプロフィール機能の活用」「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」の活用が学士力等の伸展との正の関わりを持っていることが示された。

表5-1 学士力・専門知識・意欲と施設利用の関係

	図書館	美術工芸館	キャリアセン ター	保健室・ウェ ルネス・学 生相談室	学習室	語学・異文 化学習支援 室	コミュニケー ションタイム	クラスプロ ファイル機 能	リエゾン ポートフォ リオ	ピア・メン ター	リエゾンゼミ ナビ	tfuマイカル システム
知識・ 理解	多文化・異文化に関する知識	.13**	.12*	.13*		.16**	.21**	.17**		.15**	.12*	
	人類の文化・社会と自然に関する知識	.14**	.19**	.15**	.11*		.19**	.19**		.18**	.18**	
	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.11*	.16**	.17**			.18**	.14**			.12*	
	自律・自立した学習を続けていく知識	.18**		.13**		.12*		.14**	.13**			
汎用的 技能	話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.12*	.14**	.13**			.10*	.17**	.10**		.15**	.13*
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる		.11*	.13**			.11*	.19**	.14**			
	レポートを作成することができる	.16**		.21**				.25**	.14**		.22**	.11*
	表やグラフを用いることができる	.11*	.11*	.21**			.10*	.22**	.19**	.17**	.17**	.13*
	ICTを用いて情報収集ができる	.12*		.14**				.18**	.16**		.18**	.12*
	ICTを用いて過程や成果を表現できる	.14**	.11*	.18**			.10*	.15**	.18**	.15**	.22**	.15**
態度・ 志向性	多角的かつ論理的に分析できる	.13*	.13*	.15**			.10*	.14**	.16**	.12*	.21**	.17**
	自らを律して行動できる			.13*			.11*	.13*				
	他者と協調・協働して行動できる			.12*				.14**	.11*			
	良心と社会の規範にしたがって行動できる							.17**	.16**		.14**	
	社会の一員として、積極的に関与できる	.14**	.14**	.15**				.24**	.20**		.16**	.15**
創造的 思考力	キャリア形成に取り組むことができる	.15**	.12*	.20**			.18**	.20**	.20**		.12*	
	総合的に活用して学習活動できる	.18**	.16**	.15**			.12*	.12*				.14**
	問題の発見を楽しんだりできる	.20**	.10*	.16**		.12*		.14**	.13*		.21**	
	問題について解決へ導くことができる	.10**		.21**				.25**	.19**		.21**	.13**
専門性	所属する学科の専門的な知識	.16**					.15**				.22**	.12*
	所属する学科の専門的な技術や技能	.12*		.11*	.10*		.14**	.13**	.12*		.26**	.14**
	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観	.18**			.10*		.16**	.14**			.18**	.13**
教育目標	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標	.17**		.17**	.11*	.14**	.10*	.16**	.14**		.20**	.14**
	学習に意欲的に取り組むことができる	.17**			.11*		.16**	.19**			.15**	.12*
意欲	教員・友人と意欲的に関わることができる		.10*	.17**	.17**							.11*

注1: 表中、数値はスピアマンの順位相関係数注2: 有意な相関係数のみ掲載* p<.05 ** p<.01

続いて、学士力等の伸展と履修時のシラバス・履修モデル・履修系統図の活用に関する表5-2、学士力等の伸展と履修時の学科の教育目標等の認知に関する表5-3、リエゾンゼミ I の充実度と学士力等の伸展に関する表5-4に示す。これらより学士力等の伸展に、シラバスを十分に活用して授業選択を行うこと(表5-2)、学科の教育目標やディプロマ・ポリシーを知ること(表5-3)、リエゾンゼミ I が充実していたと評価できること(表5-4)が関連していることが示された。

表5-2 学士力等の伸展と履修時の参考の程度の関係

	シラバス	履修モデル	履修系統図	
知識・ 理解	多文化・異文化に関する知識	.27**	.13*	.16**
	人類の文化・社会と自然に関する知識	.22**	.12*	.14**
	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.32**	.27**	.24**
	自律・自立した学習を続けていく知識	.16**	.17**	.18**
汎用的 技能	話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.24**	.23**	.22**
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる	.16**	.19**	.16**
	レポートを作成することができる	.24**	.20**	.16**
	表やグラフを用いることができる	.23**	.23**	.14**
	ICTを用いて情報収集ができる	.25**	.23**	.22**
	ICTを用いて過程や成果を表現できる	.20**	.11*	
態度・ 志向性	多角的かつ論理的に分析できる	.26**		.13**
	自らを律して行動できる	.17**	.13**	.17**
	他者と協調・協働して行動できる	.20**	.20**	.17**
	良心と社会の規範にしたがって行動できる	.22**	.20**	.18**
	社会の一員として、積極的に関与できる	.28**	.18**	.14**
創造的 思考力	キャリア形成に取り組むことができる	.20**	.19**	.20**
	総合的に活用して学習活動できる	.17**	.14**	.15**
	問題の発見を楽しんだりできる	.20**	.12*	.15**
専門性	問題について解決へ導くことができる	.23**	.10*	.10*
	所属する学科の専門的な知識	.27**	.19**	.14**
	所属する学科の専門的な技術や技能	.19**	.14**	
教育目標	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観	.29**	.19**	.20**
	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標	.20**	.18**	.16**
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる	.27**	.17**	.18**
	教員・友人と意欲的に関わることができる	.23**	.12*	

注1: 表中、数値はスピアマンの順位相関係数 * p<.05 ** p<.01

注2: 有意な相関係数のみ掲載

表5-3 学士力等の伸展と教育目標他の認知の関係

		学科の目的・教育目標	ディプロマ・ポリシー
知識・理解	多文化・異文化に関する知識	.25**	.19**
	人類の文化・社会と自然に関する知識	.33**	.30**
	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.35**	.32**
	自律・自立した学習を続けていく知識	.28**	.22**
汎用的技能	話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.28**	.24**
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる	.21**	.20**
	レポートを作成することができる	.28**	.27**
	表やグラフを用いることができる	.32**	.30**
	ICTを用いて情報収集ができる	.25**	.23**
	ICTを用いて過程や成果を表現できる	.21**	.19**
態度・志向性	多角的かつ論理的に分析できる	.28**	.21**
	自らを律して行動できる	.25**	.21**
	他者と協調・協働して行動できる	.30**	.22**
	良心と社会の規範にしたがって行動できる	.30**	.24**
創造的思考力	社会の一員として、積極的に関与できる	.33**	.27**
	キャリア形成に取り組むことができる	.27**	.24**
	総合的に活用して学習活動できる	.29**	.24**
専門性	問題の発見を楽しんだりできる	.26**	.22**
	問題について解決へ導くことができる	.26**	.25**
	所属する学科の専門的な知識	.25**	.15**
教育目標	所属する学科の専門的な技術や技能	.23**	.13*
	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観	.32**	.24**
意欲	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標	.34**	.30**
	学習に意欲的に取り組むことができる	.33**	.30**
	教員・友人と意欲的に関わることができる	.26**	.23**

注1: 表中、数値はスピアマンの順位相関係数 * p<.05 ** p<.01
注2: 有意な相関係数のみ掲載

表5-4 学士力等の伸展とリエゾンゼミ I の充実度の関係

		リエゾンゼミ I
知識・理解	多文化・異文化に関する知識	.21**
	人類の文化・社会と自然に関する知識	.17**
	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.28**
	自律・自立した学習を続けていく知識	.32**
汎用的技能	話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.24**
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる	.21**
	レポートを作成することができる	.15**
	表やグラフを用いることができる	.15**
	ICTを用いて情報収集ができる	.16**
	ICTを用いて過程や成果を表現できる	.19**
態度・志向性	多角的かつ論理的に分析できる	.24**
	自らを律して行動できる	.25**
	他者と協調・協働して行動できる	.21**
	良心と社会の規範にしたがって行動できる	.24**
創造的思考力	社会の一員として、積極的に関与できる	.25**
	キャリア形成に取り組むことができる	.28**
	総合的に活用して学習活動できる	.26**
教育目標	問題の発見を楽しんだりできる	.13*
	問題について解決へ導くことができる	.18**
専門性	所属する学科の専門的な知識	.23**
	所属する学科の専門的な技術や技能	.23**
	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観	.24**
意欲	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標	.20**
	学習に意欲的に取り組むことができる	.26**
	教員・友人と意欲的に関わることができる	.25**

注1: 表中、数値はスピアマンの順位相関係数 * p<.05 ** p<.01
注2: 有意な相関係数のみ掲載

8. 活動時間と学士力等の伸展の関連

学士力等の伸展と統計的に有意に関連が示された諸活動は表6の通りであった。「予復習」及び「読書」に費やす時間の多さが学士力等の伸展と関連していることが示された。

表6 学士力等の伸展と活動時間の関係

		を習授 する復の 習予	席授 する業 に出	する以授 員と外業 面に時 談教間	く書書 る・(教 除専科 門科す	む新聞 を 読	をニ ネット を 調 べ る ス で	動テ をイ す ア ン 活	ト を ル す バ イ
知識・理 解	多文化・異文化に関する知識	.14**		.13**	.23**		.10*		
	人類の文化・社会と自然に関する知識	.18**		.17**	.25**	.15**	.18**		
	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.13**			.15**				-.14**
	自律・自立した学習を続けていく知識	.23**			.15**				-.12*
汎用的 技能	話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.11*		.10*					
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる			.12*					
	レポートを作成することができる	.12*							
	表やグラフを用いることができる	.18**		.11*					
	ICTを用いて情報収集ができる	.13*			.10*		.14**		
	ICTを用いて過程や成果を表現できる	.16**			.14**		.13*		
態度・志 向性	多角的かつ論理的に分析できる	.21**			.15**		.12*	-.12*	
	自らを律して行動できる	.12*		.11*					-.12*
	他者と協調・協働して行動できる								
	良心と社会の規範にしたがって行動できる								-.17**
創造的 思考力	社会の一員として、積極的に関与できる	.14**			.17**		.14**	.11*	
	キャリア形成に取り組むことができる	.12*		.11*	.14**		.11*		
	総合的に活用して学習活動できる	.15**			.16**				
	問題の発見を楽しんだりできる	.15**		.10*	.20**		.12*		
専門性	問題について解決へ導くことができる	.19**		.12*	.14**		.13*		
	所属する学科の専門的な知識	.19**						-.12*	-.13*
	所属する学科の専門的な技術や技能	.15**							
教育目標	所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観	.23**		.11*			.100*		-.19**
	所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標	.19**		.10*					-.10*
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる	.28**		.12*					-.13**
	教員・友人と意欲的に関わることができる		.12*						

注1:表中、数値はスピアマンの順位相関係数

注2:有意な相関係数のみ掲載

* p<.05 ** p<.01

【資料1 学士力達成度・専門性の向上・教育目標の達成・意欲の伸びの項目】

(1) 知識・理解

- 1) 入学時に比べ、さまざまな文化や自分とは異なる文化の立場の人の考えや気持ち、行動をとらえるようになり、多文化・異文化に関する知識の理解ができた
- 2) 入学時に比べ、歴史的文化的な事象や社会の事象、自然の事象について、その意味とその事象が起きた理由と自分との関連をとらえるようになり、人類の文化・社会と自然に関する知識の理解ができた
- 3) 入学時に比べ、将来に出会う社会の問題や人生上の問題の解決に生かせる知識を学んだ
- 4) 入学時に比べ、自律・自立した学習（自ら進んで、到達目標と学習計画を立て、実践し、自己および他者による点検や評価を行い、改善と見直しをするという取り組み）をこれから続けていくための知識や情熱を獲得した

(2) 汎用的技能

- 5) 入学時に比べ、他人の話をよく聞き自分の伝えたいことをわかりやすく表現できるようになった
- 6) 入学時に比べ、自分とは異なる意見を持つ人と互いを尊重しながらコミュニケーションをとることができるようになった
- 7) 入学時に比べ、証拠に基づいてわかりやすく説得力のあるレポートを作成することができるようになった
- 8) 入学時に比べ、表やグラフを用いて分析し、理解し、表現することができるようになった
- 9) 入学時に比べ、インターネットなどの情報通信技術（ICT）を用いて問題解決のための情報収集ができるようになった
- 10) 入学時に比べ、プレゼンテーションソフトなどの情報通信技術（ICT）を用いて問題解決の過程や成果を表現できるようになった
- 11) 入学時に比べ、ものごとを多角的かつ論理的に分析できるようになった

(3) 態度・志向性

- 12) 入学時に比べ、時間の管理や健康管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な対処行動など、自らを律して行動できるようになった
- 13) 入学時に比べ、他者と協調・協働して、目標の実現のために、問題を共有し、方向性を示し、行動できるようになった
- 14) 入学時に比べ、自らの良心と社会の規範やルールにしたがって行動できるようになった
- 15) 入学時に比べ、社会の一員としての意識を持ち、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与できるようになった
- 16) 入学時に比べ、自分をよく理解し、将来の展望を描き、キャリア形成に取り組むことができるようになった

(4) 統合的な学習経験と創造的思考力

- 17) 入学時に比べ、実際場面で出会う課題について、これまで獲得したさまざま知識と理解、汎用的技能、態度・志向性を総合的に活用して学習活動できるようになった
- 18) 入学時に比べ、社会を広く見わたし疑問に思ったり問題の発見を楽しんだりできるようになった
- 19) 入学時に比べ、発見した問題について情報を集め、討議や調査などを行い、ねばり強く分析・整理して解決へ導くことができるようになった

(5) 専門性

- 20) 入学時に比べ、所属する学科の専門的な知識が身に付いた
- 21) 入学時に比べ、所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた
- 22) 入学時に比べ、所属する学科が目指す態度・志向性や倫理観が身に付いた

(6) 教育目標

- 23) 入学時に比べ、所属する学科が目指す教育研究上の目的や教育目標に近づいた

(7)意欲

24) 入学時に比べ、大学での学習に意欲的に取り組むことができるようになった

25) 入学時に比べ、大学で教員・友人と意欲的に関わることもできるようになった

【参考資料 2013年度の結果】

表1-1 学科

学科名	度数	%
社会福祉学科	154	21.6
社会教育学科	65	9.1
福祉心理学科	118	16.5
産業福祉マネジメント学科	83	11.6
情報福祉マネジメント学科	43	6.0
子ども教育学科	127	17.8
保健看護学科	58	8.1
リハビリテーション学科	27	3.8
医療経営管理学科	38	5.3
無回答	1	0.1
総計	714	100.0

表1-2 属性

項目	カテゴリ	度数	%
性別	男性	203	28.4
	女性	511	71.6
入試形態	AO入試	74	10.4
	推薦入試	221	31.0
	一般入試	417	58.4
	無回答	2	0.3
居住形態	自宅	354	49.6
	自宅以外	355	49.7
	無回答	5	0.7
部・サークルの所属	有	613	85.9
	無	97	13.6
	無回答	4	.6
ボランティア活動	有	473	66.2
	無	236	33.1
	無回答	5	.7
国際交流経験	有	20	2.8
	無	689	96.5
	無回答	5	.7
アルバイト経験	有	524	73.4
	無	188	26.3
	無回答	2	.3
キャリアデザイン I の履修	有	245	34.3
	無	465	65.1
	無回答	4	.6
実学臨床教育 (総合福祉学部のみ)	有	21	6.2
	無	308	91.4
	無回答	8	2.4
副専攻の履修 (総合福祉学部、総合マネジメント学部のみ)	有	41	8.9
	無	367	79.3
	無回答	55	11.9

表2 利用状況

		頻繁に	ときどき	たまに	なし	無回答
図書館	度数	129	300	227	54	4
	%	18.1	42.0	31.8	7.6	0.6
美術工芸館	度数	4	19	217	470	4
	%	0.6	2.7	30.4	65.8	0.6
キャリアセンター	度数	5	54	193	458	4
	%	0.7	7.6	27.0	64.1	0.6
保健室・ウェルネス支援室・学生相談室	度数	1	32	237	437	7
	%	0.1	4.5	33.2	61.2	1.0
コミュニケーションタイム	度数	9	28	53	618	6
	%	1.3	3.9	7.4	86.6	0.8
UNIPA クラスプロフィール機能	度数	82	198	299	132	3
	%	11.5	27.7	41.9	18.5	0.4
ピアメンター	度数	10	23	61	613	7
	%	1.4	3.2	8.5	85.9	1.0
Webテキスト「リエゾンゼミ・ナビ」	度数	5	58	304	343	4
	%	0.7	8.1	42.6	48.0	0.6
tfuマイカルテシステム・tfu元気点検道場・tfu元気点検票かるた	度数	2	54	351	304	3
	%	0.3	7.6	49.2	42.6	0.4

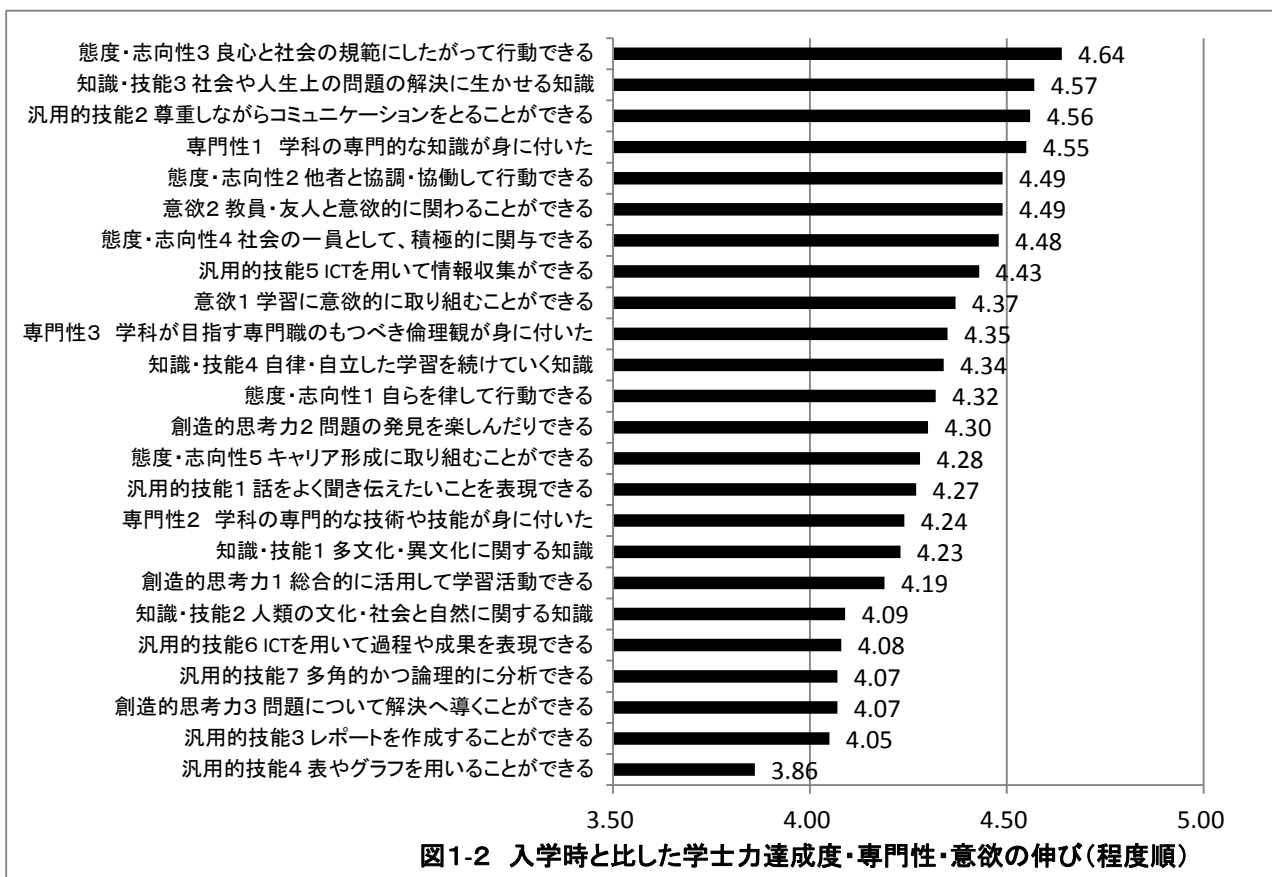
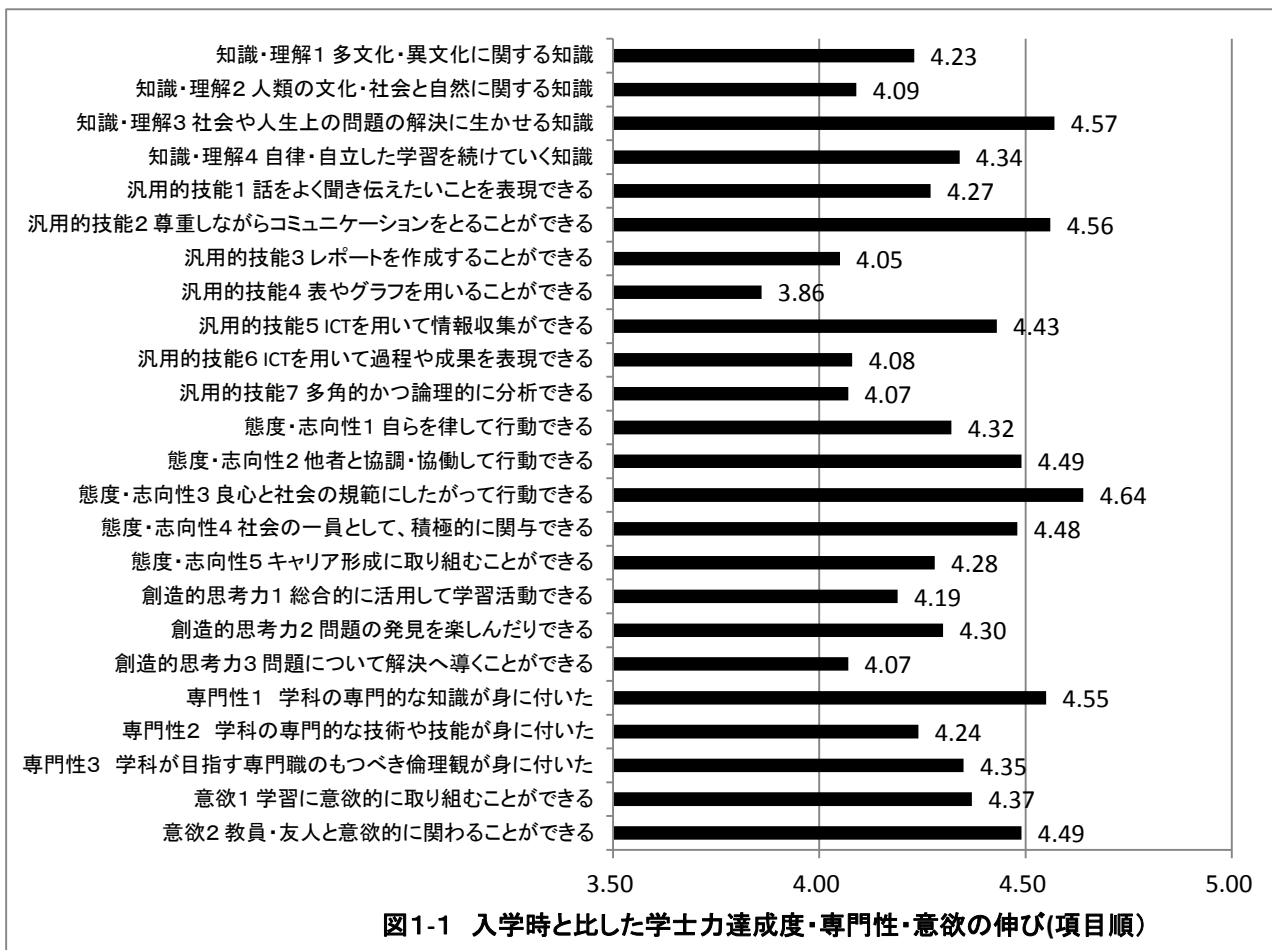


表3 1週間あたりの諸活動時間

		0時間	1時間未満	1～2時間	3～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	20時間以上	無回答
履修している授業の予習や復習をする	度数	72	239	225	107	43	11	4	8	5
	%	10.1	33.5	31.5	15.0	6.0	1.5	0.6	1.1	0.7
授業に出席する	度数	4	9	16	28	49	110	166	312	20
	%	0.6	1.3	2.2	3.9	6.9	15.4	23.2	43.7	2.8
オフィスアワーを利用するなどして、授業時間以外に教員と面談する	度数	478	179	28	8	1	5	4	2	9
	%	66.9	25.1	3.9	1.1	0.1	0.7	0.6	0.3	1.3
読書をする(予復習のための教科書・専門書を除く)	度数	185	239	172	62	23	9	5	13	6
	%	25.9	33.5	24.1	8.7	3.2	1.3	0.7	1.8	0.8
新聞を読む	度数	354	261	60	22	7	2	1	2	5
	%	49.6	36.6	8.4	3.1	1.0	0.3	0.1	0.3	0.7
インターネットでニュースを調べる	度数	114	316	165	69	27	9	3	8	3
	%	16.0	44.3	23.1	9.7	3.8	1.3	0.4	1.1	0.4
ボランティア活動をする	度数	267	154	100	88	41	14	2	43	5
	%	37.4	21.6	14.0	12.3	5.7	2.0	0.3	6.0	0.7
アルバイトをする	度数	215	16	27	65	97	104	77	106	7
	%	30.1	2.2	3.8	9.1	13.6	14.6	10.8	14.8	1.0

表4 属性と学士力達成度・意欲の伸び

		性別	入試形態	居住形態	学部・活動・サークル	アボラ活動・ボランティア	国際交流	アルバイト	ゼミ・インターン・Iアデ	育実学臨床教	副専攻
知識・理解	多文化・異文化に関する知識	女<男	一般<推薦		無<有	無<有	無<有				
	人類の文化・社会と自然に関する知識	女<男	一般<推薦	自宅<自宅以外						無<有	
	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識		一般<推薦		無<有	無<有			有<無		
汎用的技能	自律・自立した学習を続けていく知識		一般<推薦	自宅<自宅以外	無<有	無<有					
	話をよく聞き伝えたいことを表現できる		一般<推薦		無<有	無<有					
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる		一般<推薦、AO		無<有	無<有		無<有			
	レポートを作成することができる										
	表やグラフを用いることができる										
	ICTを用いて情報収集ができる							無<有			
	ICTを用いて過程や成果を表現できる										
態度・志向性	多角的かつ論理的に分析できる										
	自らを律して行動できる		一般<推薦		無<有						
	他者と協調・協働して行動できる		一般<推薦、AO		無<有	無<有		無<有	有<無		
	良心と社会の規範にしたがって行動できる		一般<推薦		無<有	無<有					
	社会の一員として、積極的に関与できる		一般<推薦		無<有	無<有		無<有			
創造的思考力	キャリア形成に取り組むことができる				無<有						
	総合的に活用して学習活動できる	女<男	一般<推薦		無<有						
	問題の発見を楽しんだりできる		一般<推薦				無<有				
専門性	問題について解決へ導くことができる		一般<推薦								
	所属する学科の専門的な知識が身に付いた	男<女							有<無		
	所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた		一般<推薦						有<無	無<有	
意欲	所属する学科が目指す専門職のむくべき倫理観が身に付いた								有<無		
	学習に意欲的に取り組むことができる		一般<推薦								
	教員・友人と意欲的に関わることができる		一般<推薦		無<有	無<有		無<有			

表5 学士力・専門性・意欲と施設利用の関係

		図書館	美術工芸館	キャリアセン ター	保健室	コミュニケー ションタイム	クラスプロ ファイル機能	ピア・メン ター	リエゾンゼミ ナビ	tfuマイカル テシステム
知識・理解	多文化・異文化に関する知識の理解	.19**	.13**	.12**	.09*	.21**	.20**	.10*	.12**	.11**
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	.15**	.10*	.17**		.17**	.19**	.09*	.13**	
	社会や人生上の問題の解決に生かせる知識	.10*		.10*		.11**	.11**		.11**	.09*
	自律・自立した学習を続けていく知識	.09*		.12**		.16**	.19**	.11**	.11**	.15**
汎用的技能	話をよく聞き伝えたいことを表現できる	.08*		.12**		.12**	.18**	.08*		.10**
	尊重しながらコミュニケーションをとることができる	.09*		.08*		.16**	.17**		.08*	.12**
	レポートを作成することができる	.14**	.10**	.11**		.13**	.09*	.15**	.10**	
	表やグラフを用いることができる	.14**	.10**	.106*		.11**	.13**	.16**		
	ICTを用いて情報収集ができる	.26**					.16**	.11**		.08*
	ICTを用いて過程や成果を表現できる	.17**	.12**			.08*	.18**	.15**	.11**	.11**
	多角的かつ論理的に分析できる	.14**	.10*	.14**		.12**	.17**	.10*	.08*	
態度・志向性	自らを律して行動できる	.11**				.10**	.18**	.08*	.10**	.10*
	他者と協調・協働して行動できる	.14**				.12**	.19**		.11**	.14**
	良心と社会の規範にしたがって行動できる	.12**				.10**	.16**			
	社会の一員として、積極的に関与できる	.09*		.12**		.13**	.15**			
	キャリア形成に取り組むことができる			.09*		.09*	.09*	.09*		
創造的思考力	総合的に活用して学習活動できる	.14**	.12**	.16**		.15**	.19**	.12**		.10*
	問題の発見を楽しんだりできる	.17**		.12**	.12**	.17**	.14**	.07		
	問題について解決へ導くことができる	.16**	.13**	.10*	.08*	.16**	.14**	.12**	.12**	.10**
専門性	所属する学科の専門的な知識が身に付いた	.09*	.09*			.102*			.11**	.14**
	所属する学科の専門的な技術や技能が身に付いた	.09*	.09*			.13**	.12**	.14**		.11**
	所属する学科が目指す専門職のもつべき論理観が身に付いた	.08*	.09*			.10**	.09*	.10*		.12**
意欲	学習に意欲的に取り組むことができる	.10**		.08*		.15**	.18**	.13**	.09*	.13**
	教員・友人と意欲的に関わることができる	.15**				.16**	.13**	.09*		.08*

注1: 表中、数値はスピアマンの順位相関係数

注2: 有意な相関係数のみ掲載

* p<.05 ** p<.01